

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0126

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣府 )

事業名	リスクコミュニケーション実施経費			担当部局庁	食品安全委員会事務局	作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	情報・勧告広報課	浜谷直史 情報・勧告広報課長	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	食品安全基本法(平成15年5月23日法律第48号)第23条第1項第7号			関係する 計画、通知等	「食品安全委員会運営計画」(2023年3月31日食品安全委員会 決定)		
政策	15 食品安全			主要経費	その他の事項経費		
施策	21 食品健康影響評価に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r3bunseki/r3bunseki-23.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	食品安全委員会が行う食品健康影響評価(以下「リスク評価」という。)結果等について国民への丁寧な説明、情報発信、また関係者間の情報及び意見の交換 (以下「リスクコミュニケーション」という。)を企画・実施することにより、食品安全に関する国民の知識と理解を深めることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	科学的な根拠に基づかない情報や知識不足に起因する、消費段階における食品の不適切な調理加工、保存、取扱等により、食中毒発生が後を絶たない現状に ある。 このため、国民が食品安全に関連する様々な意思決定を、偏った情報に左右されず合理的に行えるよう、継続的に、情報の発信や意見交換会の開催を通じて、 消費者等に対して科学的な根拠に基づく情報を広く伝達し行動変容を促していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	上記の目的を達成するため、食品安全行政の関係省庁である厚生労働省、農林水産省及び消費者庁等とも連携を図りつつ、ホームページ、Twitter、 Facebook、メールマガジン、ブログ及びYouTubeなどのネット媒体や広報誌、ポスター等の紙媒体での情報提供、報道関係者や学校教育関係者を重点対象者とし た意見交換会等を行うことにより、リスク評価結果や食品の安全性に関する科学的な知識等について国民にわかりやすく説明する。						
事業概要URL	[公式YouTubeチャンネル]https://www.fsc.go.jp/visual/youtube.html【意見交換会関係】https://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki.html【メールマガジン】https://www.fsc.go.jp/e-mailmagazine/【食品安全委員会パンフレット】https://www.fsc.go.jp/sonota/pamphlet-jap.html【広報誌「食品安全委員会」】https://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index.html【食品安全委員会公式Facebook】https://www.fsc.go.jp/sonota/sns/facebook.html【食品安全委員会公式Twitter】https://www.fsc.go.jp/sonota/sns/twitter.html						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	25.9	24.2	23.9	24.1	23.8
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
	予備費等(E)	-	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	25.9	24.2	23.9	24.1	23.8		
執行額(G)	9.2	10.8	10.3				
執行率(%) =(G)/(F)	36%	45%	43%				
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	36%	45%	43%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	食品安全政策費					
	(目)	庁費	20	20			
		委員等旅費	1	1			
		職員旅費	1	1			
		外国人招へい旅費	1	1			
		諸謝金	0	0			
		委員手当	0	0			
	その他	4	4				
	計(A)	24.1	23.8				

活動内容① (アクティビティ)	ホームページ、Twitter、Facebook、メールマガジン、YouTubeなど様々な媒体を用い、広く国民に食品安全に関する情報を提供する。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	食品安全委員会の開催結果や食品の安全性に関する情報をSNSで発信。	Facebookでの記事投稿数	活動実績 当初見込み	回/年	203	192	203	-	-
				回/年	144	144	144	144	144
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、科学的な根拠のある情報に基づき意思決定することの重要性を理解する者を拡大させるために、まずは、プッシュ型の情報発信によって、食品安全委員会の発信する情報を目にする者を増加させることが必要であるため。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
	食品の安全性についての科学的根拠に基づく情報や知識を自ら入手しようとする者の増加	食品安全委員会Facebook フォロワー数が直近2か年の 平均値よりも増加	成果実績	人	5,578	6,753	7,633	-	
			目標値	人	4,983	5,386	6,166	-	
達成度	%	111.9	125.4	123.8	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	食品安全委員会公式Facebookにフォロー登録している者の実数(食品安全委員会事務局調べ)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	食品の安全性についての科学的根拠に基づく情報や知識を自ら入手しようとする者が増加することで、間違った情報・偏った情報により意思決定をする者が減少し、食中毒予防等への意識も高まることが考えられるため、食中毒患者数の減少を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
	食中毒患者数の減少 ※目標値よりも減少することを成果指標 としているため、達成度が100%より少 なければ達成	各年度の食中毒患者数が食 安委設立のH15年を挟む5か 年(H13年～H17年)の食中毒 患者数の平均値よりも減少	成果実績	人	14,613	11,080	6,856	-	
			目標値	人	27,608	27,608	27,608	-	
達成度	%	52.9	40.1	24.8	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	厚生労働省公表の食中毒統計資料								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		地方公共団体や関係省庁と連携して、報道関係者や食品関連事業者、学校教育関係者、一般消費者等を対象にリスク評価の内容等に関する意見交換会を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		リスク評価の内容等に関する意見交換会の開催	リスク評価の内容等に関する意見交換会の開催回数	活動実績	回	11	14	13	-	-
				当初見込み	回	10	10	10	15	20
↓		効果発現の初期段階として、科学的な根拠のある情報に基づき意思決定することの重要性を理解する者を拡大させるために、まずは、リスク評価の内容等に関する意見交換会を開催し、これに参加した者の食品安全に関する理解度を増進させることが重要であるため。								
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		リスク評価の内容に関する意見交換会への参加者に対するアンケート調査において「内容についての理解度が増進した者」の割合の増加 (成果実績の式) リスク評価の内容について理解度が増進した者÷意見交換会参加者アンケート回答者×100	令和2年～4年度の平均が、平成25～27年度の平均(88.7%)より増加【達成度】 令和2年～4年度の平均は97.0%であったので、達成度は97.0/88.7×100=109.4%	成果実績	%	95.4	100	95.5	-	
				目標値	%	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		リスク評価の内容等に関する意見交換会への参加者に対するアンケート調査								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		食品安全に関する理解度が増進した者が増加することで、そこからの波及効果も含め、より多くの者に科学的な根拠に基づく食品の安全性に関する情報・知識が伝達され、食中毒予防等への理解が高まることが考えられるため、食中毒発生件数の減少を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		食中毒発生件数の減少 ※目標値よりも減少することを成果指標としているため、達成度が100%より少なければ達成	各年度の食中毒発生件数が食安委設立のH15年を挟む5か年(H13年～H17年)の食中毒発生件数の平均値よりも減少	成果実績	件	887	717	962	-	
				目標値	件	1,715	1,715	1,715	-	
				達成度	%	51.7	41.8	56.1	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		厚生労働省公表の食中毒統計資料								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定 等		名称								
		URL								
		該当箇所								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		本事業においては、少額契約については見積り合わせを行うなど、競争性の確保や支出先の適正な選定に努めている。 令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて対面、オンライン会議システム及び動画配信を活用してリスクコミュニケーションを行った。具体的な活動としては、 ・報道関係者を対象とした食品添加物やかび毒等のリスク評価に関する意見交換会の実施、 ・食品関連事業者や研究者等を対象とした「精講：食品添加物のリスク評価をアップデート～評価指針を改正、ワイン添加物も続々評価～」の実施、 ・Facebookを通じた食品安全委員会の審議結果の報告、 ・Twitterによる肉の生食への注意喚起、 ・YouTubeを活用した妊娠中の食事に関する動画配信 などを実施し、食品の安全性に関する科学的な知識を効果的に普及できるよう努めた。 また、意見交換会について、食品添加物、食中毒等の国民の関心が高いテーマについて関係省庁や地方公共団体と連携して開催した。					目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)			
改善の 方向性		上記点検結果と併し、関係のニーズを踏まえたりリスクコミュニケーションが実施できたと考えるが、リスクコミュニケーションは常に国民のニーズを踏まえより適切かつ効果的に推進する必要がある。そのため、 ・報道関係者と、丁寧に科学的知見を提供する体制の構築、意見交換、 ・消費者団体、事業者団体、関係機関団体等の要望を踏まえた、より多くの関係者との食品安全に関する情報・意見の交換、 ・ホームページ、SNS、広報誌など様々な情報発信媒体を活用した効果的かつ効果的な情報発信、 を実施する。 また、引き続き「食品安全委員会運営計画」に基づく事業の実施及び適切な進捗管理、契約における競争性の確保などによる予算の効率的執行等のコスト削減に努める。								



内閣府食品安全委員会事務局  
10.3百万円

役務【随意契約（少額）】

A. 民間企業等（10団体）  
1.7百万円

食品安全に係る消費者向け動画作成業務等

役務【随意契約（少額）】

B. その他（有識者・職員等）  
8.7百万円

意見交換会等開催に伴う委員等旅費、職員旅費、謝金、期間業務職員賃金及び社会保険料等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と用途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
					人件費	個人A	4
	計			計		4	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エービーシースタイル	3010001083998	食品安全に係る消費者向け 動画作成業務	0.8	随意契約(少額)	-	-	
2	シンソー印刷株式会社	2011101036302	食品安全委員会広報誌「食品 安全」第59号印刷	0.3	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社食品化学新聞社	1010001018709	ifia/HFEJAPAN2022に おけるブース出展費用	0.1	随意契約(少額)	-	-	
4	一般社団法人日本毒性病理 学会年次学術集会	-	第39回日本毒性病理学会総 会学術集会広告掲載料	0.1	随意契約(少額)	-	-	
5	日本農薬学会	-	日本農薬学会第48回大会講 演要旨集広告掲載料	0.1	随意契約(少額)	-	-	
6	第81回日本公衆衛生学会総 会	-	第81回日本公衆衛生学会総 会広告掲載料	0.1	随意契約(少額)	-	-	
7	朝日梱包株式会社	9010601040880	食品安全委員会広報誌「食品 安全」第59号の梱包発送	0.1	随意契約(少額)	-	-	
8	公益社団法人日本食品衛生 学会	2011005003308	日本食品衛生学会第118回 学術講演会広告掲載料	0	随意契約(少額)	-	-	
9	日本環境変異原ゲノム学会 第51回大会	-	日本環境変異原ゲノム学会 第51回大会」広告掲載料	0	随意契約(少額)	-	-	
10	日本薬科機器協会	-	日本薬学会第143年会併催展 示会におけるブース出展費用	0	随意契約(少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	期間業務職員賃金	4	その他	-	-	
2	個人B	-	期間業務職員賃金	4	その他	-	-	
3	個人C	-	リスクコミュニケーション参加 旅費	0	その他	-	-	
4	個人D	-	講師謝金	0	その他	-	-	
5	個人E	-	府省庁連携意見交換会参加 旅費	0	その他	-	-	
6	個人F	-	リスクコミュニケーション参加 旅費	0	その他	-	-	
7	個人G	-	リスクコミュニケーション参加 旅費	0	その他	-	-	
8	個人H	-	リスクコミュニケーション参加 旅費	0	その他	-	-	
9	個人I	-	リスクコミュニケーション参加 旅費	0	その他	-	-	
10	個人J	-	リスクコミュニケーション参加 旅費	0	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった理 由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	